

12・12京大集会へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2016年11月20日
No.424

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

訪韓闘争の感想②

■沖大学生自治会委員長・赤嶺知晃

動労千葉訪韓団として全学連の仲間と一緒に訪韓闘争に参加しました! 民主労総のゼネストの闘いが切り開いたパククネ打倒情勢の中での訪韓闘争は、歴史を変えるような闘いの現場を体感することができた最高のものになりました。

何よりも、パククネ打倒で200万人が集まった民衆総決起大会は、本当に圧巻でした!

200万人が集まった12日の民衆総決起のデモで驚いたことは「人が多すぎてデモができない」ということです。歩道を含めて通りの端から端まで人が密集しているので、デモをしているはずが人混みの中で訪韓団の仲間とはぐれないようにするのが必死でした。学生や社会人、家族連れやお年寄りなど膨大な人々がプラカードをもって光化門に向かって進んでいく様子を見て自分が歴史的な瞬間にいることを実感しました。

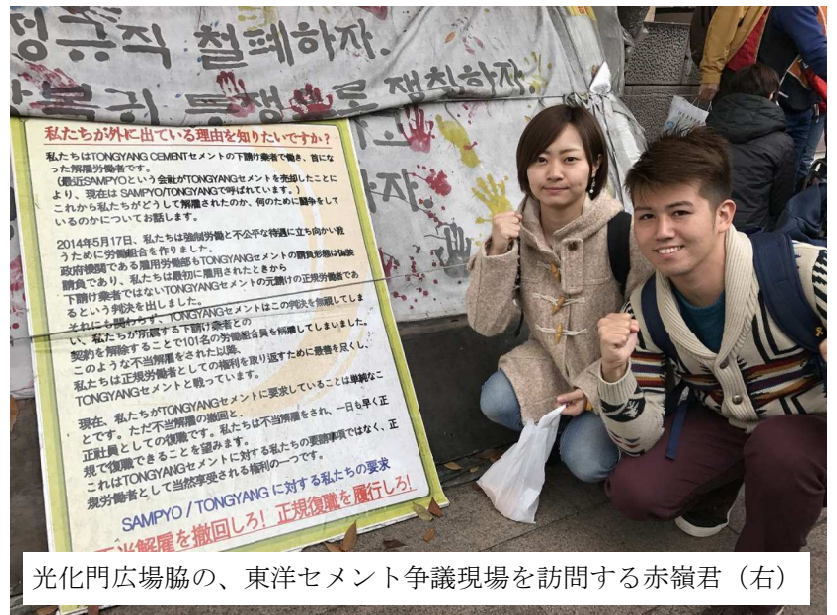
そして民衆総決起の中で特に目立ったのは圧倒的な学生・若者の決起です。大学生だけでなく中高生も膨大に立ち上がっていました。光化門前広場ではあらゆるところで学生団体が集会や演説をしており、見渡す限り若者しかいないという場面もありました。高い非正規職率の中で多くの若者が生きられない現実を強制される中、チェスンシル問題で明らかになった財閥のための政府の現実に若者の怒りが爆発しています。

最後は、光化門前広場にまでいきました。全学連訪韓団で「安倍アウト! パククネアウト!」とコールしていると「ありがとうございます!」「がんばってください!」と声援をうけました。日本からの訪韓団は大歓迎をうけました!

こうした民衆総決起の巨大な闘いの中にいればいるほど、民主労総の闘いが心棒となっていることを実感できます。

民衆総決起集会でペクナムギ農民の遺族、セウォル号遺族、サード配備反対を闘う住民と一緒に登壇し、発言したことが印象的でした。新自由主義と戦争政治の矛盾が様々な形で噴出する中で、労働者民衆の闘いこそが社会を変えると訴え、ゼネストという最もわかりやすい形で闘い抜いている民主労総がすべての怒りを一つに束ねあげています。学生決起の契機になった梨花女子大の闘いの背景にも民主労総ゼネストの闘いがあります。

他にも獄中にとらわれているハンサンギョン委員長のメッセージと映像、そして機動隊の放水銃によって亡くなったペクナムギさんの映像が流れました。逮捕と長期投獄、国家権力の殺人



光化門広場脇の、東洋セメント争議現場を訪問する赤嶺君(右)

的デモ弾圧などがありながら民主労総が無期限ゼネストを闘い抜き巨大な労働者民衆の決起を生みだしていることにあらためて感動しました。どんな弾圧や分断があろうとも労働者階級の決起を信じ闘い抜けば変えられない現実はないと肌身で実感することができました

12日の闘い以外にも、闘争現場訪問ということでセウォル遺族の座り込みテントや東洋セメント労組・旭日ガラス労組の籠城闘争の現場を訪問しました。

そして、訪韓闘争最終日には、韓国の左派新聞ハンギョレ新聞の本社で取材を受けることができました。民衆総決起の場で知り合ったハンギョレ新聞の記者の方が全学連にインタビューをしてくれました。翌日に出たインタビュー記事に「明るい笑顔で騒いでいた20代とみられる若者たちが、特に目を引いた。」と書いているように全学連訪韓団が団結して元気に闘い抜いたことが重要だったと思います! すぐさま民主労総の同志たちからも記事を見たよという知らせが届きました!

民主労総委員長代行のチェジョンジンさんは11月中にすべてを止めるゼネストをやると宣言しました。韓国の労働者民衆は自らの手で資本主義を打倒する闘いに立ち上がっています。その中で、日本から来た訪韓団を歓迎し、ハンギョレ新聞の記者はインタビュー記事も書いてくれました。私たち日本の労働者・学生の闘いが問われています! 日米韓による朝鮮侵略戦争を始める前に止める闘いは巨大な規模で始まっています。訪韓闘争の教訓を生かし、沖大キャンパスから戦争絶対反対・全基地撤去の沖縄全島ゼネストの実現に向け闘っていく決意です!

■富山大・藤井優輔

11・12に韓国で100万人を優に超える労働者民衆の決起の下、パククネ政権打倒を訴える大ゼネストが闘われました。ソウル市内の一角で行われたこの闘いは、会場となる広場とその周辺道路すべてを埋め尽くし、そこでは見る者を圧倒する労働者のエネルギーが発せられていたように思います。

夕方からは全体が移動し、デモの形になったのですが権力の予想を遥かに上回る労働者民衆の結集は予定されていた光化門までの規制線を突破し、余りの力に機動隊は任務を放棄し逃げ出す者までおり、労働者と権力の力関係によってここまでの事が出来るのだと改めて感じさせられる闘争になったと思います。

そして私が特に重要だと感じたのは、民主労総が主催で後日行われた、全世界の労働者が集まって行われる理念交流会です。その中でアメリカのATUという鉄道労組の執行委員であるエディックさんは生活賃金となる15ドル以上の給与などを求めて闘っているのですが、今現在アメリカでは9割が労働組合に加入していないという問題があり、数1000万人の非正規がいるそうです。

しかし、そんな中でも不屈に闘いを続け多くの州で1時間15ドル以上の獲得に成功しているというATUの大きな勝利がある一方で企業が値上げした賃金を適用しない、又は一部の部門では値上げが行われる前に生活苦から辞めてしまう労働者がいるという新自由主義の現実に対する怒りが沸き上がりました。そして既成の労働組合は一方で何をしているかという何もしない。さらには組合員をこれらの闘いには動員せず、自発性や戦闘性を抑え込んでいるあり方は、まさに日本の御用労働組合のあり方と一体であり、資本のあり方は他の国でも変わらないという事と同時にその事からアメリカにも労働運動組合のさらなる発展が求められていると感じました

そして交流会の最後に質問の機会が設けられていたのですが、そこで民主労総が多くの学生達をどのように組織したかという質問に対し、今回これだけ大きな規模の全人民的なゼネストを行えたにも関わらず、それほど強い繋がりはまだ構築できていないという民主労総からの回答に自分は驚きました。

というのもそれは1987年の闘争から学生運動が一旦弱まってしまったという点があるそうです。この点については、日本でも苦闘があります。全学連の闘いも、日本も2004年の国立大学法人化以降、大学当局・資本側からの学生に対する弾圧が強まった点があるからです。安保国会の学生の決起、法大闘争、京大の輝かしい反戦ストライキが闘われる中で、まだまだ韓国には数では及ばない現実があります。がしかし、今回韓国の学生はこの情勢に立ちあがりました。それは学生に元々ある社会に対する問題意識でもあるし、民主労総が他ならぬ自らの現場で闘う姿を学生に見せてきた事があるからだと思います。

そして訪韓闘争の総括として、日本でも民主労総のような労働者・学生の闘いを実現したい、韓国ゼネストを上回るような安倍打倒の闘いを



11・12民衆総決起デモ中の藤井君（左）

学生の間で作り出すためにも、全国大学で、富山大学で、いち早く学生自治会を復権させていきたいと思いました。

■首都圏大学1年生

初めての韓国に行き、12日の民衆総決起大会やデモに参加してみてもなんにも大勢の人が一つのことに対して、向き合えることにただただ驚きました。いつも一人一人違う世界で生きていて、隣にいる人のことさえ何も分からないけど、あの場にいたみんなが同じ世界に生きてるような感覚でした。

デモ中見上げた空には、後二日で満月になる月がありました。地上では「パククネ下野」のシュプレヒコールと人々が渦巻く中、月はひたすら静かに私たちを見ていました。この声が届いていたとしたら、きっと私の前に道を示してくれそうだなと考えていました。100万人なんていわれても想像できないし、その中にいたと言われても実感なんて湧かないし、だけど数なんてどうでもよくなるくらいの怒りがそこにはあったと思います。大勢の若い世代の人が決起していた姿は感動でした。自分の問題だと認識しているからこそ、NO!と言えるのだと思いました。

デモ中日本から来た私たちに向かって歓声を上げてくれました。「あべアウト!」と言えば、「あべアウト」と返してくれた。それは、韓国と日本で抱えている様々な問題が同じだと感じる瞬間でした。「頑張ろう」と声をかけてくれたり、「ありがとう」と言ってくれた。韓国のこの怒りと決起に対して、日本からも同じ立場で考え行動していかなければならないと教えられました。私たちの怒りの決起が必ずこの社会を変えます。その証拠が今回の訪韓で見てきたものすべてだと思います。

改憲阻止！ 民主労総ゼネスト連帯！ 京大反戦ストへの無期停学処分撤回！

12・12京大大集会&京都市内デモ

京大キャンパス集会

12月12日（月）11:50 京大時計台前集合

京都市集会&デモ

12月12日（月）18:30 三条大橋下集合

<呼びかけ>京大同学会中執

★改憲阻止、あべ開せ！
★韓国民主労総ゼネスト連帯！
ストライキで朝鮮侵略戦争止めよう！
★京大反戦ストへの
無期停学処分撤回！！

12.12.2016 MON
京大大集会

●京大キャンパス集会
11:50 京大時計台前 集合
12:00 集会開始
12:45 第3回 署名提出行動
12:50 京大キャンパス一周デモ

●京都市集会&市内デモ
18:30 集会開始（三条大橋下）
19:30 市内デモ出発

京都大学全学自治会
同学生会中央執行委員会
<http://dougakukai.blog.fc2.com/>

京大同学会執行委員会 @dkgac